

# 平成24年度 第1回入船地区学校統合説明会

1 日 時 平成24年 7月28日(土)

12時30分～14時30分

2 会 場 入船北小学校体育館

3 次 第

(1) 開会の言葉

(2) 教育委員会挨拶

(3) 説 明

(4) 質疑応答、意見交換

(5) 閉会の言葉

4 合同説明会のご案内

(1) 日 時 平成24年 9月22日(祝)

<午前の部> 10時00分～12時00分

<午後の部> 13時00分～15時00分

(2) 会 場 入船南小学校体育館

# 入船地区学校統合計画について

## ＜経緯＞

- ◇平成13年度 第1次学校適正配置等検討委員会にて、学校種別の望ましい学校規模について、及び適正配置の方法について、さらに学校選択制の導入について等の検討を行った。
  
- ◇平成20年度 第2次学校適正配置等検討委員会にて、学校配置に関する基本的な考え方等について検討し、平成21年3月に「浦安市における学校の適正配置についての基本方針（以下“基本方針”）」を策定した。
  
- ◇平成21年度 第2次学校適正配置等推進検討委員会にて、基本方針をどのように具体化していくかを協議した。
  
- ◇平成22年度 中町地区（入船地区）学校適正配置懇談会にて、入船地区小中学校のPTA代表、学校評議員代表、自治会代表、学校長等に学校適正配置事業の概要を説明し意見をいただいた。  
平成23年3月に市長が入船地区学校統合について施政方針演説で取り上げ、新聞等でも報道された。また、入船地区の保護者や自治会代表、学校関係者へ文書にてお知らせした。
  
- ◇平成23年度 入船地区学校統合準備委員会を立ち上げ、具体的な検討に入る予定であったが、東日本大震災の影響により、第9中学校開校が1年延期になったため、本計画も1年延期となった。  
教育委員会内にて、学校統合検討部会会議を開き、来年度以降の検討・協議の進め方を決めた。  
7月に延期通知を、2月に計画の今後の進め方についての通知を配付した。  
9月に入船地区、今川一・二丁目在住の新1年生保護者あて、計画の通知を配付した。
  
- ◇平成24年度 教育委員会内に入船地区学校統合準備委員会（以下“準備委員会”）を設置し、5月9日（水）の第1回準備委員会にて組織や今後の進め方、検討課題やスケジュールについて原案を協議した。  
7月13日（金）に入船地区学校統合懇談会（以下“懇談会”）を開催し、準備委員会で検討・協議した内容等を説明し意見を伺った。

# 入船地区学校統合の今後の進め方について

## ＜学校統合の目的＞

入船地区学校統合は、10年・20年先を見通して考えていく中で、子どもたちの教育を受ける環境を整備し、豊かな学びを保证するために行います。

## ＜学校統合の目標＞

入船地区学校統合は、中学校との併設を生かした魅力ある学校づくりを行います。

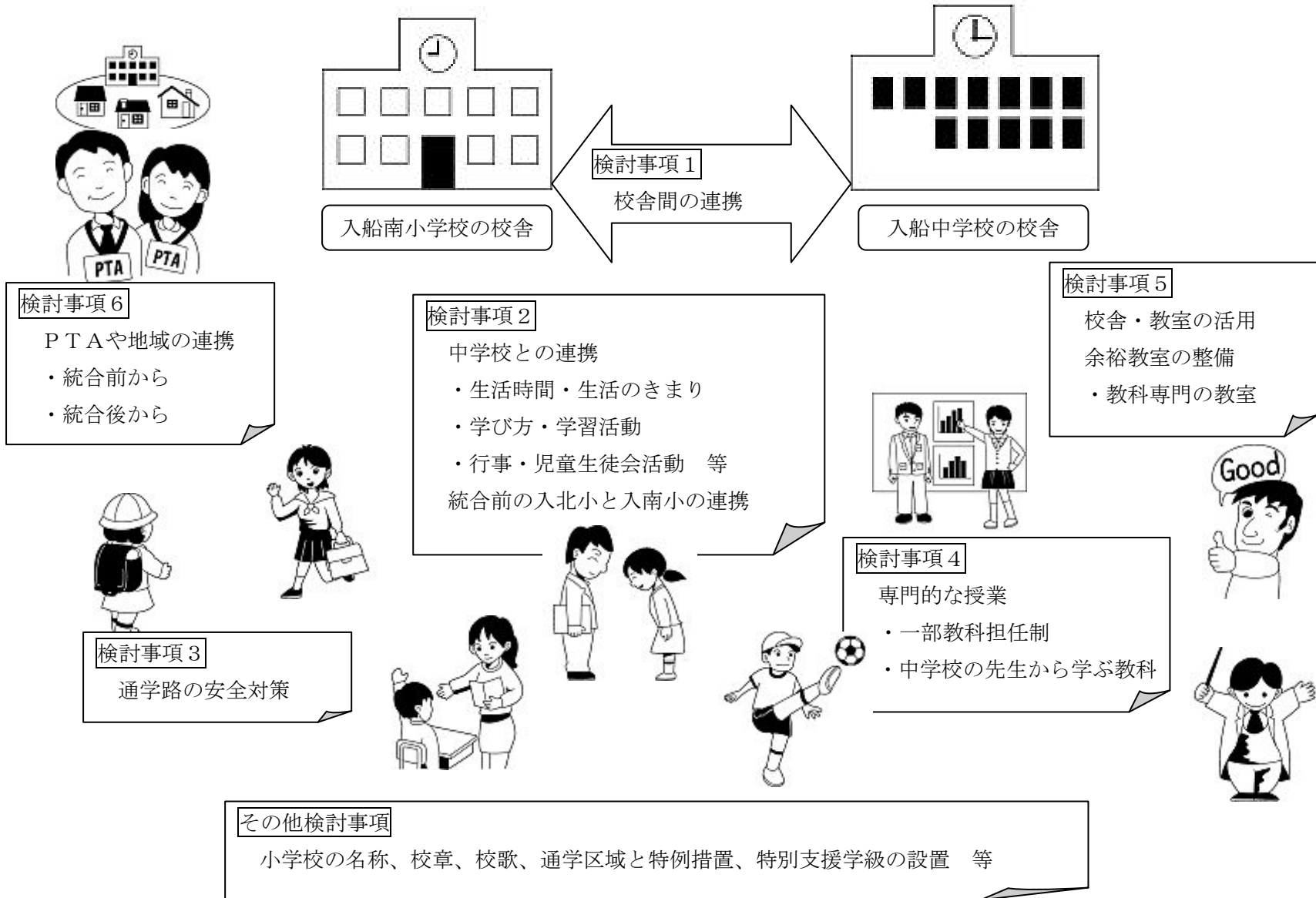
## ＜学校統合により期待される効果＞

- 統合によって児童数及び学級数が増えることにより、同学年の子どもたちの交流が活発になり、他クラスとの切磋琢磨により集団学習のよさや効果が期待できます。
- 学校行事などの諸活動において、子どもたちがより多様な経験をすることができます。
- 授業中等で多様な意見が出ることによって、考えの深化や多角化が期待できます。
- クラス替えが可能になり、多様な人間関係に接する機会を得ることができます。
- 子どもたちを多くの教員の目で見ることにより、客観的な評価をすることができます。
- 小学生と中学生の交流の機会が増すことにより、あこがれや尊敬の念、あるいは思いやりの心を育てることができます。
- 小学生にとって、中学校をより身近に感ずることによって中学進学への不安を取り除くことができます。
- 中学生にとって、下級生との交流が増すことによってリーダーシップの育成や異年齢交流等の体験が期待できます。
- 小学校高学年の授業の一部を中学校の教員が指導することにより、専門性が高く児童にとって魅力ある授業を展開することができます。
- 教科の教室を設置することにより、学習への積極性や集中力を高めることができます。さらに学習機材や視聴覚機材を充実させることにより、学習の深化や多角化が期待できます。

## ＜今後の検討の方向性＞

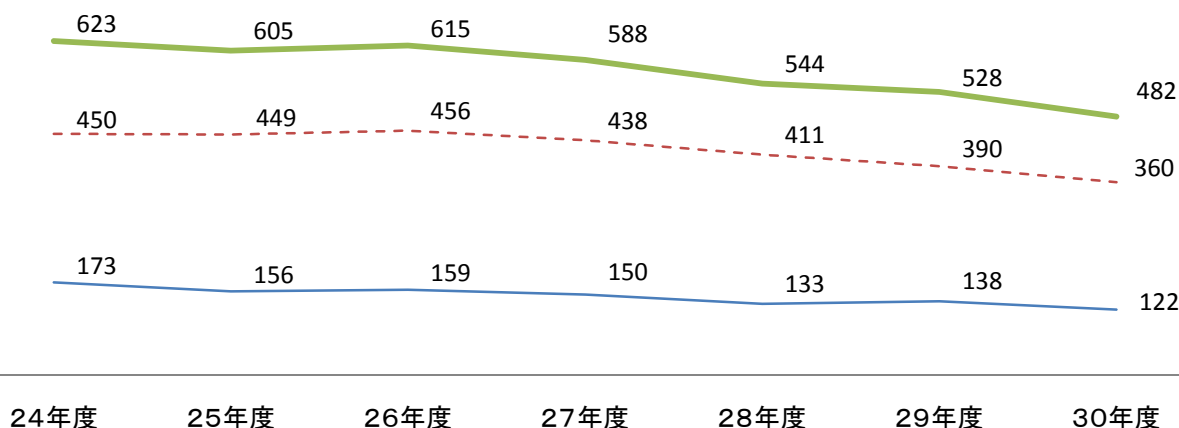
- 1 入船地区学校統合は、入船北小学校と入船南小学校を統合し新たな小学校としてスタートするという考えを基本としています。
- 2 学校統合後の小学校の児童が、既存の入船南小学校及び入船中学校の校舎を利用することができるようにします。
- 3 小中学校間での連携を重視した小中連携・一貫教育を推進します

子ども達が安心して楽しく通える魅力ある学校をつくるために今後検討していく事項



# 入船地区小学校児童数の推移予測

— 入船北小    - - - 入船南小    — 入北小+入南小



## 入船北小学校児童数・学級数の推移予測

	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1学年	30	1	22	1	25	1	20	1	14	1	27	1	14	1
2学年	22	1	30	1	22	1	25	1	20	1	14	1	27	1
3学年	31	1	22	1	30	1	22	1	25	1	20	1	14	1
4学年	29	1	31	1	22	1	30	1	22	1	25	1	20	1
5学年	22	1	29	1	31	1	22	1	30	1	22	1	25	1
6学年	39	2	22	1	29	1	31	1	22	1	30	1	22	1
合計	173	7	156	6	159	6	150	6	133	6	138	6	122	6

## 入船南小学校児童数・学級数の推移予測

	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1学年	70	2	79	3	71	3	56	2	58	2	56	2	40	2
2学年	77	3	70	2	79	3	71	3	56	2	58	2	56	2
3学年	85	3	77	3	70	2	79	3	71	2	56	2	58	2
4学年	74	2	85	3	77	3	70	2	79	3	71	2	56	2
5学年	64	2	74	2	85	3	77	3	70	2	79	3	71	2
6学年	80	3	64	2	74	2	85	3	77	3	70	2	79	3
合計	450	15	449	15	456	16	438	16	411	14	390	13	360	13

## 入船北小学校+入船南小学校

	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1学年	100	3	101	3	96	3	76	3	72	3	83	3	54	2
2学年	99	3	100	3	101	3	96	3	76	3	72	3	83	3
3学年	116	4	99	3	100	3	101	3	96	3	76	2	72	2
4学年	103	3	116	4	99	3	100	3	101	3	96	3	76	2
5学年	86	3	103	3	116	4	99	3	100	3	101	3	96	3
6学年	119	4	86	3	103	3	116	4	99	3	100	3	101	3
合計	623	20	605	19	615	19	588	19	544	18	528	17	482	15

## 入船中学校生徒数・学級数の推移予測

	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1学年	229	6	223	6	56	2	67	2	75	3	64	2	65	2
2学年	228	6	229	6	77	3	56	2	67	2	75	2	64	2
3学年	196	6	228	6	229	7	77	3	56	2	67	2	75	2
特別支援学級	20	3	18	3	10	2	9	2	7	1	5	1	3	1
合計	673	21	698	21	372	14	209	9	205	8	211	7	207	7

\* 平成25年度以降の児童・生徒数及び学級数は、平成24年5月1日現在の幼児児童生徒数から推計したものです。入船中の26年度は、3年生が仮称第9中学校へ通学しないことを仮定しています。

\* 学級数は、小学校1・2年生は35人学級、3～6年生は38人学級で算出しています。中学校は、平成26年から1年生は35人学級、2・3年生は38人学級で算出しています。

# 入船地区学校統合に関するQ&A

平成23年1月に開催した「中町地区（入船地区）学校適正配置懇談会」および平成24年7月13日に開催した「入船地区学校統合懇談会」で、保護者や地域の代表の方々から御意見や御質問をいただきました。

その主なものについて、Q&A形式でご説明いたします。

## **Q 1** 入船地区の学校統合の話は突然出てきたように感じるのですが？

A 1 望ましい学校規模の在り方については、平成13年度より検討・協議を重ね、平成21年3月には「浦安市における学校配置の適正化に向けての基本方針」（以下「基本方針」）を策定し、市のホームページに掲載して市民の皆様への周知を行いました。

平成21年度には、その基本方針をどのように具体化していくかについて協議し、その結果をホームページで公表しました。平成22年度には中町地区（入船地区）学校適正配置懇談会にて、入船地区関係者の代表の方々に説明を行い、年度末には市長の施政方針演説で取り上げ新聞等でも報道されました。

さらに、平成23年3月10日付け文書にて、入船地区の小中学校、幼稚園・保育園の保護者の皆様、地域の代表の皆様にお知らせしました。昨年の7月には、震災によりこの計画が1年延期になったことを、今年2月には計画の今後の進め方を文書にてお知らせいたしました。

ただし、この事業の説明やこの事業への御理解を得ることは万全だったかということについては、十分ではなかったと反省しております。

今後、皆様の不安を少しでも軽減し、御理解を得ることに努めてまいります。

## **Q 2** どのように検討・協議し決定してきたのですか？

A 2 平成20年度の第2次学校適正配置等検討委員会では、学識経験者や市立小中学校PTA連絡協議会代表、公立幼稚園地区PTA連絡協議会代表、自治会連合会代表、市民公募の方々、市立小中学校長代表、行政の代表にお集まりいただき、様々な貴重なご意見をいただきながら、基本方針を策定いたしました。

平成21年度の第2次学校適正配置等推進検討委員会では、学識経験者や市立小中学校PTA連絡協議会代表、公立幼稚園地区PTA連絡協議会代表、自治会連合会代表、市立小中学校長代表、行政の代表にお集まりいただき、基本方針をもとに具体的な検討を行い、大規模校対策や小規模校対策を策定しました。

学校統合は本市にとっても初めての、しかも大変大きな事業ですので、様々な見地からの御意見をいただきながら進めていかなければなりません。今後も懇談会での御意見を踏まえながら進めてまいります。

## **Q 3** なぜ3年後の統合となるのですか？

A 3 市内では、望ましい学校規模を保つため、平成16年度から小規模学校選択制度により、児童数を増やす対策を行ってきましたが、入船北小学校では効果が少ないのが現状です。学校の規模は、いったん小規模化するとさらに小さくなっていく傾向があり、今後は心配しています。

入船北小学校の過小規模化を解消するためにも学校統合は必要であると考えています。関係者への理解や統合への準備をすることを考え、3年後としました。

**Q 4 入船北小学校の跡地利用はどのように考えていますか？**

A 4 入船北小学校は避難所にもなっていますので、地域の方々が不安感を持たないよう、有効に活用するにはどうするかをこれから検討していきます。

**Q 5 小中連携・一貫教育と小中一貫校の違いを教えてください？**

A 5 一貫校というのは小学校6年間と中学校3年間を連続させ、1年生から9年生までとし、学校長も1人で経営する形の学校をいいます。

本市が推進しようとしている小中連携・一貫教育は、小学校6年制、中学校3年制という現在の仕組みは維持しつつ、小学校と中学校が連携し、9年間で子どもを育てるという一貫した考え方で子どもたちを育てるという教育です。

**Q 6 小規模校のよさもあると思うのですが？**

A 6 小規模校には、アットホームな雰囲気で学校生活を送ることができるなど、メリットもあることは認識しており、それらを否定するものではありません。

今回の統合は、この地区の10年・20年先を見通して考えていく中で、子どもたちの教育を受ける環境を整備し、豊かな学びを保証するために行うものです。

統合後の学校が魅力ある学校となるよう、小中連携・一貫教育等の様々な対応を図っていく予定です。

**Q 7 学校統合後の校舎の使い方についてはどのように考えていますか？**

A 7 現在の入船南小学校の校舎だけでは入りきれませんので、平成26年度に第9中学校と分離し、余裕教室のできる入船中学校の校舎を利用しようと考えております。

**Q 8 学校統合を機会に、入船南小学校の施設の改修をお願いできませんか？**

A 8 新しい小学校の校舎として使うことになる現入船南小学校と入船中学校の校舎については、教室の使い方を検討する中で改修を検討します。

**Q 9 統合するのであれば、行事等での早い段階からの交流が必要ではないでしょうか？**

A 9 統合前から行事等で2つの小学校が連携していくことは、各校の教職員の代表やPTAの代表の方々、および教育委員会とで連携して検討しながら進めていきたいと考えております。

**Q 10 学校統合に関する情報の伝達をきちんと行っていただきたいと思えます。**

A 10 今回のような説明会を適宜開催するとともに、入船地区学校統合懇談会の内容をお便りにして配布したり、市のホームページに掲載することも考えられます。また、教育委員会が発行している広報紙「うらやすスタイル」への掲載等、効果的な方法を検討いたします。

そして、皆様の不安や心配を軽減していくよう努めます。